

2015.8月

# もいのものがたい

夏号

みどり  
100年後の森林のために

第6号



福岡県糟屋郡宇美町 宇美八幡宮の衣掛の森

福岡県広域森林組合発行 広報誌

**JForest** ふくおか



# 第3回通常総代会

平成27年7月24日（金）  
クリエイト篠栗にて開催

平成27年7月24日に第3回通常総代会を開催しました。総代会数195名中本人出席者102名、書面による議決権の行使等80名で本総代会が成立しました。



白井組合長挨拶

冒頭に出席者全員による森林組合綱領を唱和し、本店事業課山田久能が福岡県広域森林組合基本理念を読み上げました。渡副組合長の開会のあいさつに引き続き、白井代表理事組合長より「昨年7月の第2回通常総代会で承認いただいた事業計画に沿って事業推進に当たった結果、計画に対して106%とやや上回ることに

出来ました。厳しい林業諸事情の中で組合員の皆様のご協力と関係機関のご支援によるものと深く感謝申し上げます。」とのあいさつがありました。続いて、議長に福岡北支店管内の野見山義隆氏を選出し、上程された9議案すべてが原案通り可決されました。

当日は、福岡森林管理署西林寺隆署長様、福岡県福岡農林事務所大坪靖典所長様、福岡県森林組合連合会亀石達朗代表理事専務様から来賓祝辞をいただきました。また、長年にわたり森林組合の理事や作業班長を務めた吉丸敏彦氏（糸島市二丈）、40年以上森林組合の作業班長等を務めた地域林業の振興に寄与された篠崎繁幸氏（嘉麻市千手）松葉英和氏（飯塚市穂波）の3氏に対して組合長から感謝状と記念品が贈呈されました。



ステージ全景

なお、可決された議案は次のとおりです。



出席された総代の皆様

- 《1号議案》平成26年度事業報告書承認の件
- 《2号議案》平成27年度事業計画書決定の件
- 《3号議案》平成27年度役員報酬決定の件
- 《4号議案》平成27年度借入金最高限度額決定の件
- 《5号議案》一組合員及び員外に対する貸付金の最高限度額決定の件
- 《6号議案》余剰金預入先決定の件
- 《7号議案》定款の一部変更の件
- 《8号議案》定款附属書総代会選挙規程の一部変更の件
- 《9号議案》定款附属書総代会選挙規程の一部変更の件
- 《附帯決議》



福岡森林管理署長 西林寺 隆様

- Q 総代会でいただいた質問・意見等については次のとおりです。
- Q 植林した山の下刈補助金は何年間出ますか。
- A 原則5年間です。
- Q 森林保険制度についてお聞きしたい。
- A 4月から国より森林総合研究所に移管されています。森林の火災、風害、水害、雪害等を対象にした保険です。詳しいことは支店にて説明します。
- Q 獣害防護ネット、シカ被害防護ネットについて教えてください。
- A シカ被害が増加しており、その防護対策の一環です。獣害防護ネットはシカの角と被被害等の対策として木の根元にネットを巻きつけている。
- シカ被害防護ネットは植栽苗木をシカの食害から守るためネットを張り巡らせるものです。

平成27年度事業計画について  
平成27年6月1日から  
平成28年5月31日まで

平成27年主要事業の計画は次のとおりです。販売事業は、昨年10月から検討を重ねた「素材生産量5万m<sup>3</sup>体制の基本計画」に沿って、今年度実績30,690m<sup>3</sup>に対して114%増の35,000m<sup>3</sup>の計画としました。また、県が進めている主伐事業につきましても、今年度も町有林・財産区や組合員所有山林等約20haを実施します。県の主伐補助制度は、素材材積1m<sup>3</sup>当たり800円の助成がありスギ林であれば1ha当たりチップ材を含むと40万円位の補助金となります。

主伐が推進されますとその後、再造林や下刈面積の増加で組合事業の拡大にもつながります。



向かって左より  
吉丸 敏彦 氏  
篠原 繁幸 氏

間伐については「森林経営計画」を2,200ha樹立し、その団地内の搬出間伐面積は350ha、素材生産量は28,600m<sup>3</sup>としています。加工部門は「原田加工場改善計画」に沿って事業運営を図って行きます。今年度は久山町の幼稚園建設資材を中心に製材します。本事業は久山町有林のスギ・ヒノキを伐採して、搬出・選別して原田加工場で製材・乾燥・納品の予定となっております。

購買事業は主伐事業の拡大が見込まれる中で、植栽樹種の検討と優良苗木の確保に努めます。今年度以上の売上げを目指す販売計画としています。なお、平成27年度の公的機関の利用ですが、組合員の皆様からの事業実施要望計画に支障のない範囲内で、今年度も福岡県の保安林改良事業、福岡市、嘉麻市、宮若市、篠栗町等から発注される販売事業や森林整備事業の入札に参加する

予定です。併せて国立研究開発法人森林総合研究所から委託される除間伐や収入間伐等についても実施します。事業総収益は、今年度実績1,488,663千円とほぼ同額の101%と低めの事業計画となりましたが、これは森林・林業を巡る諸情勢が引き続き厳しい状況が予想されているためです。役員員一体となつて、この事業計画を着実に実施していきます。

## 貸借対照表 (平成27年5月31日現在)

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	948,404	流動負債	210,987
有形固定資産	474,623	固定負債	222,774
無形固定資産	605		
外部出資	44,197		
その他固定資産	21,865		
資産合計	1,489,695	負債合計	433,761

## 損益計算書

(自平成26年6月1日 至平成27年5月31日)

科目		金額
事業総利益		552,097
1 指導事業	収益	14,312
	費用	4,540
2 販売事業	収益	200,484
	費用	106,267
3 加工事業	収益	34,340
	費用	27,881
4 森林整備事業	収益	1,239,524
	費用	797,875
事業管理費		508,347
事業利益		43,750
事業外収益		21,046
事業外費用		38
経常利益		64,758
特別利益		59,024
特別損失		53,020
税引前当期純利益		70,762
法人税等合計		11,565
当期剰余金		59,197
前期繰越剰余金		9,288
当期末処分剰余金		68,485

## 平成26年度 剰余金処分計算書

適用	金額
当期末処分剰余金	68,485
剰余金処分額	60,000
1 法定準備金	14,000
2 任意積立金	46,000
次期繰越剰余金	8,485

※単位未満の数値を切り捨てて表示していますので、加減した数値は一致しない部分があります。



# 平成27年度 支店別主要事業の紹介

## 本店 参事 坂田俊夫

平成27年度の事業計画では、森林整備部門の受注減が見込まれます。この状況を打開するため、組合では「2020年までに素材生産量5万m<sup>3</sup>体制の基本計画」の目標を掲げました。



架線集材の様子

これにより販売部門では、主伐17ha・利用間伐105haを実施し、総材積10,750m<sup>3</sup>の素材生産を計

画とし、対前年度比で167%を目指しています。

加工部門では、篠栗町学校木質化を始めとし、新規に久山町建設資材の受注が決定しています。建設は久山町産の木材を利用するため、本年9月から伐採に入り順次受託加工を行う予定です。更なる経費の削減を図り、原田加工場の改善を進めます。

森林整備部門は、「主伐で元気にプロジェクト事業」推進により育林事業の拡大に努めます。

なお、荒廃森林再生事業については残り3年となり事業箇所掘り起しを図るとともに保安林改良事業及び利用事業の受注を行って行きますので、よろしくお願ひ致します。

## 福岡西支店 支店長 築地山治

平成27年度は、新たに高性能林業機械ハーベスタの導入を計画しており、26年度に導入した機械と併せて稼働させます。

機械の修理作業については人事異動により即日対応が難しくなりましたが、福岡南支店職員一同、誠意をもって対応していますので、ご不便をおかけしますが、ご理解の程お願い致します。

## 福岡北支店 支店長 松田隆春

福岡北支店の事業目標は、素材生産量5万m<sup>3</sup>体制の基本計画により、今年度6,000m<sup>3</sup>を取扱い計画としました。内訳として主伐5.0ha搬出間伐75haを実施する予定です。



松くい虫防除

昨年度、宗像支所に新規導入致しました林業機械(グラップル付バックホー・フォワーダ)を合せて北支店管内には2セットの高性能林業機械が配備され、今年度には、グラップル付バックホー1台を国の補助事業で新規に導入し生産性の向上に努めます。

又、作業員は現業職員2名を今年度新規採用し、請負作業班の方々にも協力を頂き取扱い目標を達成したいと考えています。

森林経営計画を早期に樹立するために、地区座談会や説明会を開催し多くの森林所有者からの賛同を頂きます。

森林整備部門では、荒廃森林再生事業・保安林改良事業等を中心に手入れの遅れた山林(350haの間伐・除伐)の再生に取り組みます。

また松食い虫防除・駆除事業については、昨年度並みの計画としています。

利用事業については、公園や道路の草刈、支障木の伐採など様々な工種の受注確保に努めます。事業計画達成に向け本店、各支店、支所とも連携を密にし、事業推進を図って参りますので皆様方のご協力をよろしくお願ひ致します。

取扱量の増加及び生産コストの低減に努め、5万m<sup>3</sup>体制の基本計画により7,000m<sup>3</sup>の生産と搬出路を10,000m開設します。今後は、森林経営計画の樹立を推進し、利用間伐を主体とした販売部門の強化を図りながら、未利用材の有効活用及び山林所有者の所得向上に努めてまいります。



間伐現場

森林整備・治山事業につきましては、170,000千円の事業計画をしており、受注確保に努め計画達成を目指します。

今年度も組合員の皆様をはじめ、各関係機関のご協力をお願いし、職員・作業班共に努力してまいりますので、よろしくお願ひ致します。

## 嘉飯山支店 支店長 堀江 信

今年度当支店は、三つの事業を柱に事業の推進を図っていきます。一つ目は、荒廃森林再生事業です。荒廃森林再生事業については、市役所と連携しながら未施工地の掘り起しを行い、面積の確保を図ります。



林業専用道

二つ目は、利用事業です。昨年度は、実績が大幅にダウンしましたので、土木会社等に積極的に営業活動を行い、事業量の確保と計画数量の達成を目指します。

## 福岡南支店 支店長 石橋義朗

福岡南支店は支店内にストックヤード及び加工場を備えています。加工では公共構造物の木質化による建築物への地元材の提供、また、原田加工場の取引先であるお客様からの注文が増えた影響で、平成26年度実績の10%増としています。南支店は都市近郊であるため、草刈・伐採・枝落し等の作業依頼が多いので、利用事業の推進を図ります。

受託林産に於いては高性能機械を新たに1セット導入予定です。又、林産作業班を増やすことにより計画に対する実績の積み重ねに努力してまいります。



利用間伐現場

三つ目は林産事業です。今年度は、飯塚支所にプランナーの資格を持つ職員を配置し、飯塚市周辺の森林経営計画樹立の推進を図ります。また、嘉麻市では森林整備加速化事業により、今年度まで3本の林業専用道を開設しました。この林道を活用して林産事業を推進します。

現在、泉河内地区はこの林道を利用して林産事業を行っています。その他熊ヶ畑地区、足白(馬見)地区の三か所で林産事業を行っています。

当支店は、機械整備センターを設置しており、チェンソー・草刈機を中心に販売をしています。

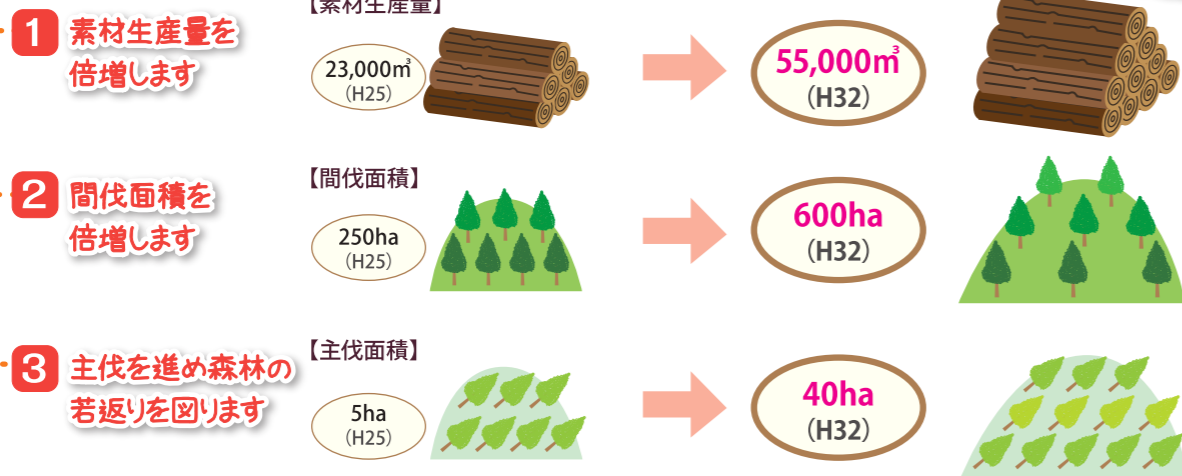
特に機械の修理はベテラン職員が対応しますので、お声かけをお願いいたします。

この事業を達成するには、組合員の皆様をはじめ、作業員の方々、各関係機関の方々のご協力が必要です。何卒よろしくお願ひ致します。

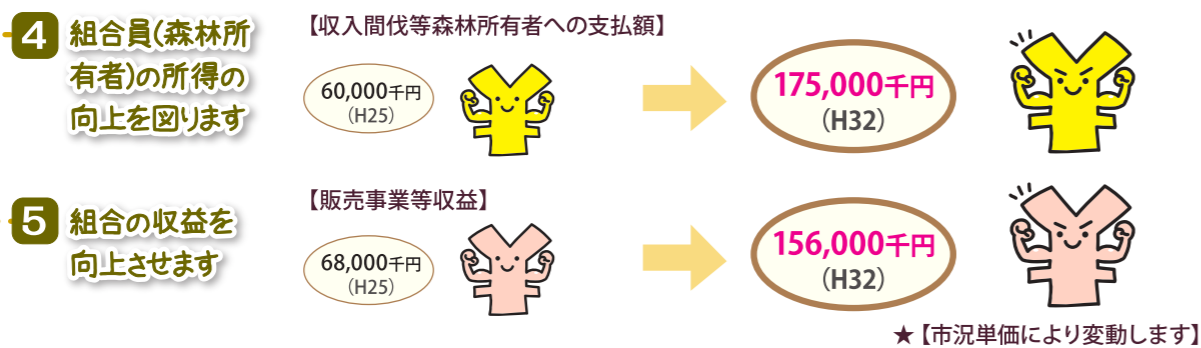


# 2020年までに目指す4つの方向と10の目標

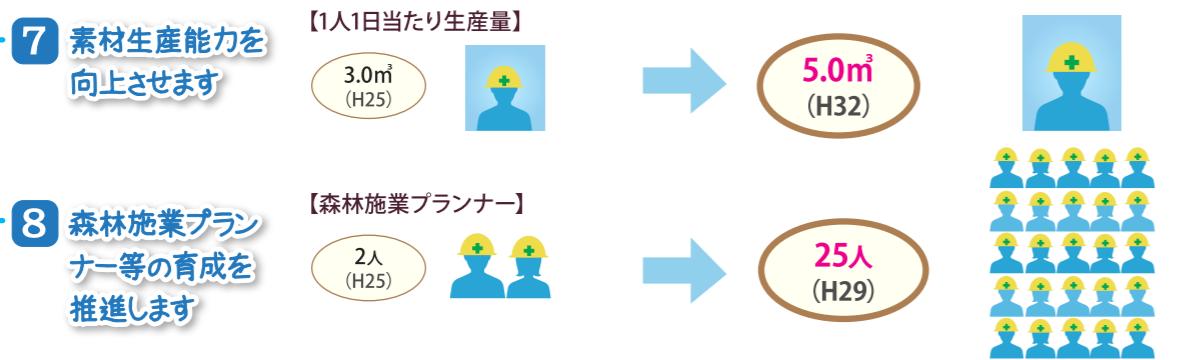
I 豊かな森林を未来に引き継ぐ



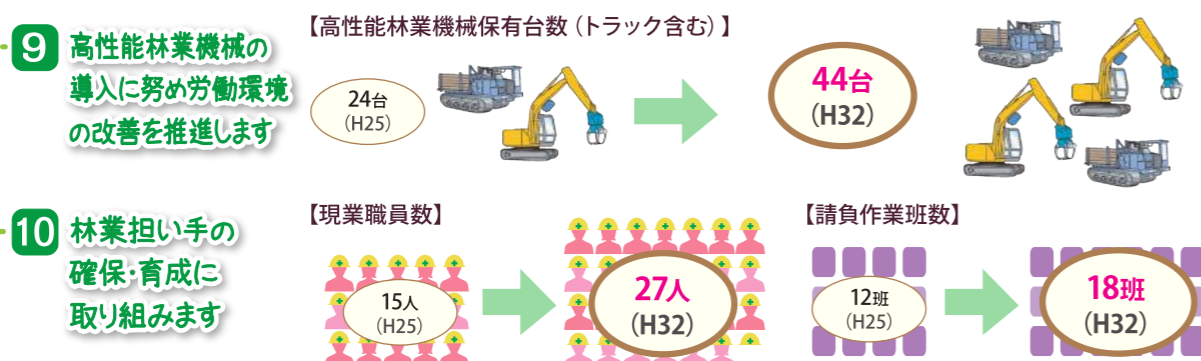
II 組合員への貢献



III 人づくり



IV 地域の振興



## 素材生産量

## 5万m<sup>3</sup>体制の確立に向けて



福岡県広域森林組合は、平成25年4月1日に福岡都市圏を中心とする11の森林組合が広域合併して誕生しました。

県内の29市・町を管轄し、区域内には約7万haの私有林が存在します。これは県全体の1/3にもなります。

所有森林をしっかり守ってほしいという組合員さんの期待に応えるためにも、さらに経営及び組織基盤を強化する必要があります。

そこで、組合では  
**「2020年(平成32年)までに  
素材生産量5万m<sup>3</sup>達成」**

との大きな目標を掲げてみました。

2020年、これは東京オリンピックが開催される年です。この大きなイベントが開催され国中が湧き上がる年に合わせて目標を掲げています。

目標達成のためには、間伐等を進めるための森林経営計画の作成、作業を実施する作業員の確保、安全な作業とコストの削減を図るための高性能林業機械の導入、さらに生産性の向上を図るための職員の能力向上など大きな課題があります。

しかし、これらの課題を1年1年解決しながら目標に向かうことが、新組合が掲げている「基本理念」の実現につながるものと確信しております。

関係機関のご指導とご協力をいただきながら、東京オリンピックの年には5万m<sup>3</sup>達成という金メダルを獲得するための基本計画を作成しました。

この夢のあるスローガンを掲げ職員一同夢の実現に頑張ります。



福岡県広域森林組合の森林資源構成表

	土地面積 (ha)	森林面積 (ha)	私有林面積 (ha)	私有林蓄積 (m <sup>3</sup> )	私有林人工林面積 (ha)	林道・作業道密度 (m/ha)
福岡県	497,851	222,039	194,578	45,958,312	128,347	15.89
福岡県広域森林組合	190,030	83,305	68,512	15,408,763	43,880	12.87
本店	20,672	9,535	7,425	1,818,569	5,233	21.25
西支店	55,785	20,867	16,899	4,239,422	11,344	15.66
南支店	23,338	12,128	10,259	2,322,969	6,597	14.12
北支店	53,297	21,710	17,938	3,450,074	9,942	6.73
嘉飯山支店	36,938	19,065	15,991	3,577,729	10,764	11.61

(福岡県林業統計要覧より)



### 素材の年度別生産目標

単位:m<sup>3</sup>

年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
本店	2,193	5,800	6,500	8,500	9,200	10,000	10,500	10,500
西支店	4,257	4,900	7,000	8,000	9,000	10,000	11,000	11,000
南支店	6,190	7,050	7,500	8,000	8,500	9,100	9,600	10,000
北支店	4,543	4,300	6,000	7,000	8,000	8,900	9,900	11,000
嘉飯山支店	5,808	7,950	8,000	8,500	9,300	10,000	11,000	12,500
合計	22,991	30,000	35,000	40,000	44,000	48,000	52,000	55,000
前年度数量に対する増加量		+7,000	+5,000	+5,000	+4,000	+4,000	+4,000	+3,000

### 森林経営計画の年度別作成目標

単位:ha

年度	24・25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
本店	202	570	932	1,162	1,450	1,650	1,850	2,000
西支店	263	397	773	1,553	2,650	3,450	4,300	5,000
南支店	408	1,503	1,899	2,199	2,600	3,200	3,950	4,500
北支店	348	478	852	1,062	1,500	2,200	2,900	3,500
嘉飯山支店	833	1,048	1,728	2,508	2,800	3,600	4,350	5,000
合計	2,054	3,996	6,184	8,484	11,000	14,100	17,350	20,000
前年度数量に対する増加量		+1,942	+2,188	+2,300	+2,516	+3,100	+3,250	+2,650

### 福岡県農林業総合試験場 資源活用研究センター(5) 眠れる資源を活かす・木質バイオマス発電

みなさんは、「木質バイオマス発電」という言葉を聞いたことがありますか？

東日本大震災以降、従来の原発や化石燃料に頼った発電が見直される中で、未利用の間伐材(林地残材)などを燃料とした木質バイオマス発電が注目されています。

#### ◆木質バイオマス発電とは？

未利用の間伐材や枝条などの林地残材、製材工場の残材、家屋等の解体材などをボイラーで燃焼させ、タービンを回して発電を行うことです。

「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」が創設され、木質バイオマスを燃料として発電した電力を安定して売電できるため、各地で発電施設が建設されています。

特に九州は多くの発電施設があり、大分県日田市で稼働中の「グリーン発電大分」を始め、すでに7施設が稼働しています。(今後稼働予定の施設も加えると17施設)

#### ◆原木価格への影響

九州各地で発電施設が稼働し、燃料となる林地残材が不足気味であるため、原木市場での低質材の価格は上昇傾向にあります。



効率的な林地残材の搬出方法の研究

今後とも原木不足が早急に解消される可能性は低いことから、製材向けの原木も買付される可能性もあり、市況全体の価格にも影響すると思われれます。

#### ◆林地残材は今後も不足

林地残材が不足する理由は2つあります。

一つは、現在の森林施業が間伐主体であり、林地残材を効率よく搬出できないためです。

もう一つは九州ですべての発電施設が稼働した場合には、現在の素材生産量の4〜5割程度が燃料として新たに必要となるためです。このため、しばらくは燃料不足が続くと予想されます。



森林施業プランナーの養成研修



現場研修の実施

#### ◆主伐で効率よく木材を使う

林地残材を効率よく搬出するには、主伐(皆伐)を行って、良い材、悪い材(燃料用)を合わせて搬出することが近道です。同じ山でも林地残材の売上が加われば、山全体の価値は上がります。

また、福岡県では主伐に対する助成事業を行っているほか、木材を効率的に林地から搬出する試験研究(写真参照)も当センターで行っています。

#### ※主伐で元気にプロジェクト交付金

県では、山村の振興と県産材の供給拡大を目的として、主伐材に対して1㎡当たり800円を助成しています。詳しくは、福岡県森林組合連合会(092・712・2171)、または当センターにお問い合わせ下さい。  
(林業普及課 0942(45)7868)

#### 筑豊地区女性林研グループ

筑豊地区女性林研グループは、添田地区を中心に活動する「どんぐりの会」、嘉麻地区を中心に活動する「つげの会」、宮若地区を中心に活動する「緑の会」から構成される女性林研グループです。現在は、28名の会員で活動しています。平成19年、福岡県内で広域での



### 林業機械の紹介 第5回「ハーベスタ」

高性能林業機械の中でも、造材作業ができる機械は限られています。プロセッサ(第1回で紹介)と今回紹介するハーベスタです。この2機種の大きな違いは、立木の伐倒が出来るかどうかという点が挙げられます。

ハーベスタは、立木の伐倒、枝払い、玉切りといった一連の作業を行うことができ、更には玉切りした材の集積までを行うことができ、自走式の機械です。

従来、立木の伐倒はチェーンソーで行うのが主でした。伐倒作業は林業労働災害の発生が一番多い作業なので、この作業を機械で行うことが出来れば、現場作業員の労働環境の改善につながります。

しかしながら、自走式機械は傾斜地での作業が難しいため、作業範囲が限られてくるという難題があります。

効率的に活用するために、作業道の開設時に発生する支障木の伐倒や、作業道から届く範囲内の伐倒作業に主に利用しています。

当組合では、今年度福岡西支店に配置予定です。

機械の特徴を活かした作業を行いコスト削減に努めていきます。



女性林研グループとして発足し、先進地視察をはじめ、青少年との交流を通じ、森林づくりを実践しています。

昨年度は、福岡県の森林環境税公募事業に応募して、一般の方と森林学習や木工体験を通して、森林保全、森林資源の活用など広く知ってもらっていました。

木に親しみ、木の良さや特徴を学び森林育成活動の「木育」に取り組んでいます。

活動地域が離れていますが、定期的な交流やイベント事業、定期総会など全員が顔をそろえて親睦を深めています。



第6回(平成27年3月6日)

- ◎付議事項  
第1号議案  
諸規程の改定について
- 第2号議案  
森林国営保険事務再委託について
- ◎審議事項  
①定款の一部変更について  
・定款第32条役員の数について
- ・役員選任規程について  
・総代選挙規程について  
・役員定年制について
- ◎報告事項  
①職員の採用結果について  
②北九州市森林組合からの合併申し込みについて  
③役員研修について  
④行事報告について  
⑤事故報告について

第5号議案

- 固定資産の処分について
- 第6号議案  
年度末賞与及び平成27年度定期昇給について
- 第7号議案  
理事との契約について
- ◎報告事項  
①素材生産量5万m<sup>3</sup>体制について  
②定期人事異動について  
③組合員の加入について  
④組合の行事報告及び予定について  
⑤平成26年度コンプライアンス関連研修の実施報告について  
⑥その他

第1回(平成27年7月1日)

- ◎付議事項  
第1号議案  
平成26年度事業報告について
- 第2号議案  
平成27年度事業計画について
- 第3号議案  
表彰(功労賞)について
- 第4号議案  
第3回通常総代会について
- 第5号議案  
理事との契約について
- 第6号議案  
職員の夏期賞与支給について
- 第7号議案  
平成27年度福岡県広域森林組

基本理念

福岡県広域森林組合は、組合員とともに森林の恵みを守り、林業の活性化、地域振興を目指すために次の基本理念を掲げます。

「森林の恵みに感謝し、豊かな森林を未来に引継ぎます。」

「活力に満ちた人づくりで、林業と地域の活性化に努めます。」

「組合員の信頼にこたえ、組合員に貢献できる組合を目指します。」

平成27年度人事異動

(旧職名)

- 【福岡西支店】  
糸島支所主任技師  
住田健一郎(福岡西支店森林整備係主任技師)
- 事業課森林整備係技師  
姫野 聡(糸島支所技師)
- 【福岡南支店】  
筑紫野支所技師  
築地 徳喜(福岡南支店森林整備係技師)
- 【福岡北支店】  
事業課森林計画係長  
尾塚 卓司(福岡北支店森林整備係主任技師)
- 岡垣支所長兼森林整備係長  
上野 紀昭(岡垣支所長)
- 【嘉飯山支店】  
事業課課長補佐  
野中憲二郎(事業課課長補佐兼飯塚支所長)
- 飯塚支所長  
永末 敬典(福岡北支店宗像支所係長)
- 【新規職員】  
吉武 春臣(福岡北支店)  
洪田 有美(福岡北支店)  
佐々木絢子(福岡北支店宗像支所)
- 【新規現業職員】  
戸川 由宇(原田加工場)  
高田 羽(福岡西支店)  
伊藤 一也(福岡北支店)  
城戸 信広(福岡北支店)  
吉見 和憲(嘉飯山支店)  
森 浩記(嘉飯山支店)
- 【退職者】  
本店現業職員  
渡邊 昌嘉
- 福岡北支店事業課森林整備係主任技師  
坂本 省三

職員紹介

このコーナーでは、各地で日々業務に励んでいる職員をご紹介します。

《記載内容》

- ①氏名 ②所属・役職
- ③担当 ④趣味
- ⑤コメント・座右の銘等



きくつぎ けんじ  
①菊次 憲二  
②本店事業課  
事業課長  
③事業全般

- ④剣道・クルマ  
・おすすめの居酒屋  
居酒屋 宝船
- ⑤好きな言葉  
「努力に勝る天才なし」



なかむら けんじ  
①中村 賢治  
②福岡西支店  
事業課長  
③事業全般

- ④DVD鑑賞  
・おすすめのDVD  
CIS・ポーンズ
- ⑤好きな言葉  
「油断大敵」



しばこ けいすけ  
①柴戸 慶介  
②福岡南支店  
事業課 林産係長  
③林産  
④ドライブ

- ⑤好きな言葉  
「信念を持って生きていれば、  
人生に迷うことは無い」  
信念に沿って  
突き進んでいけばいいからだ。  
そこには後悔もないだろう。」



うえの のりあき  
①上野 紀昭  
②北支店  
岡垣支所 岡垣支所長  
③森林整備他

- ④野球  
・おすすめ  
子供の野球観戦
- ⑤好きな言葉  
「努力は一瞬の苦しみ、  
後悔は一生の苦しみ」



ながすえ たかのり  
①永末 敬典  
②嘉飯山支店  
飯塚支所 飯塚支所長  
③森林整備・林産他

- ④バイクツーリング  
・おすすめのスポット  
角島
- ⑤好きな言葉  
「勇猛精進」

新入職員紹介



しばた ゆみ  
氏名 渋谷 有美  
所属 福岡北支店  
事業課 森林計画係  
担当 森林整備、森林経営計画  
水源の森  
趣味 映画鑑賞  
好きな映画 スタジオジブリ

一言コメント  
幼い頃から自然が大好きだったので、森林に関わることのできる職に就けて嬉しく思っています。  
美しい森林づくりに貢献できるように頑張ります。  
よろしくお祈りします。



よしたけ はるおみ  
氏名 吉武 春臣  
所属 福岡北支店  
事業課 森林整備係  
担当 公団造林、労働力確保  
加速化・再生事業  
趣味 音楽鑑賞  
好きなアーティスト The Ventures、ZZ top

一言コメント  
森林組合の職員に採用され、あっという間に4ヶ月が経ちました。4ヶ月で学んだことはたくさんありますが、まだまだ分からないことばかりです。  
挫けず学んでいきますので、よろしくお祈りします。



ささき あやこ  
氏名 佐々木 絢子  
所属 福岡北支店  
宗像支所  
担当 造林事業  
趣味 コーヒー、旅行  
おすすめのリラックス法 岩盤浴(の後は...)

一言コメント  
林業の世界に入って約4カ月。支えていただきながら充実した毎日です。不慣れな土地での現場はまず宗像市の地理情報を頭に入れることから...。様々な方と出会う機会があり、多くの刺激を受けています。これからも一つ一つの縁を大切に、この仕事を一生涯貫けるような大切な楽しい仕事にしたいです。どうぞよろしくお祈りします。



# 中久原祇園祭(糟屋郡久山町)

この祭りは、暑い夏を乗り切り無病息災、安全を祈願する伝統行事で、明治のころから続いているとのこと。

久山町久原の須賀神社で2日間行われ、初日は露店が出店され、夕方からは子どもによる奉納相撲が行われます。青年団相撲になると一般の人の飛び入り参加もあり夜遅くまで賑わいます。

初日の最後には花火が行われ、町内各地はもとより、町外からも観客が訪れます。



清道廻り

そして、2日目夜明け頃から青年団と一般の人による「万度参り」が行われます。「万度参り」とは各人が境内や神社周辺を走って周回しながら、柿の葉を1枚ずつ神前に供え、1万枚になるまでお参りをするものです。

次に行われるのは「清道廻り」といい、法被に赤禪、下足袋のいでたちの男たちが清道ののぼりを持って「わっしょい！わっしょい！」と勇ましい声をあげながら境内や地域の各家庭を祓い清めてまわり、須賀神社の境内でおこもりをします。

この祭りは地区にとつて、なくてはならないものになっており、いづれもこの地域では珍しい行事で、初夏の久山町を彩る風物詩となっています。

中久原祇園祭は「かすやのお宝百選」に認定されています。



万度参り

## 林家・人物紹介



いのうえ しげよし 井上重誠氏

今回紹介する林家は、篠栗町大字萩尾にお住まいの井上重誠さんです。

所有森林は約7haで、若い時から会社勤めをしながら、所有山林の手入れをし、退職してからは一市五町財産組合の作業班員として活躍しておられます。

所有森林は植林から下刈り、間伐など全ておひとりで行っておられ、平成25年には林内作業車を使って、34年〜64年生のスギ・ヒノキ林(約7反)の搬出間伐を行っておられます。

また、平成に入ってから天然絞り丸太を作り始めたそうです。奈良県に研修に行かれるなど熱心に取り組まれています。絞り丸太とは、表面に波状の縦皺のついた杉の丸太で、主に床柱として使われています。西日本地域は太いものが、東日本地域は細いものが好まれております。品質を良くするた



天然の絞り丸太

めには早めに枝打ちをすることが大事だそうです。以前は、高級品として高く売れていたそうですが、近年は需要が少なくなっているとのこと。

この地域では、シカやイノシシによる被害が多く、その対策には苦労されているそうです。シカの剥皮対策として立木にテープを巻くなど工夫されています。

篠栗町林業部会の部員であり、地域の山林の整備に取り組みられています。

その他にも稲作(約1ha)をされたり、原木シイタケ栽培も行っておられ、地元の料理屋さんに出荷されたりするそうです。

今後は、適期に間伐を行い、山を育てていきたいと仰っています。

## 峠紹介シリーズ 第4回 坂本峠

峠紹介シリーズ、第4回目となります。

今回は、国道385号線沿いの坂本峠について紹介します。

この峠は福岡南支店から約20km程離れ、福岡県筑紫郡那珂川町から佐賀県吉野ヶ里町へ行く途中に位置します。

坂本峠は、明治35年陸地測量部作成の5万分1図によれば標高545メートルと記載されており、最大勾配20%と急峻で道幅が狭い割には都市間を結ぶ道となつていて、交通量は意外と多く対向車に注意が必要です。

又、以前には無理矢理大型車が進入してしまふ通行止になる事が頻繁にあったとの事で、現在では2トン車以上の車両は通行禁止となっています。

名前の由来は、筑前戦国時代(1551年〜1600年)に豊臣秀吉軍方の筑紫広門氏の拠点である一の岳城と、肥前街道沿いの支城で、川に面した猫城と二つの城が有ります。

そこから肥前国坂本村に向かう峠であったことから、筑前側

からの呼称であったとされています。

肥前街道とは、亀の尾峠より南下、終始那珂川の左岸(西側)を通り、大野谷と小川内の合流点橋を渡った所のわずかず下流(東側)を指します。

豊臣秀吉公が九州征伐を思い描いていた時代を共に生きた、先人達の幾多の想いが詰まった峠です。



## 山の幸紹介

### またたび酒

#### 《材料》

- ・またたび 300g
- ・氷砂糖 300g
- ・ホワイトリカー及び果実酒用ブランデー 1.8L

#### 作り方

- ①またたびを綺麗に洗って、水気をよく拭き取ります
- ②右記の材料を果実酒用の瓶に入れ、半年ほど寝かせれば完成

またたび酒の効能としては、疲労回復、滋養強壮、冷え症、腰痛、がん、風邪予防など様々です。

「またたび」の名前の由来として有名なものは、疲れた旅人がまたたびの実を食べるとまた旅ができることから言われていますが、アイヌ語の「マタタンブ」からきたというものが一番有力な説のようです。アイヌ語でマタは冬、タンブは亀の甲の意味で、果実を表した呼び名だそうです。





## 現業職員の一日

福岡西支店現業職員4名は、糸島地区の林道支障木の伐採・搬出作業を行っています。

毎日朝7時過ぎに組合事務所に集合し、車1台に乗り合わせて8時前に現場に到着します。

現場到着後、最初に作業手順の確認を行い、伐倒・集材・造材を各自分かれて作業を行います。

まず1人が伐倒から始め、ウインチ付グループで伐採した材(全木)を木寄せ集材し、数十メートルごとに設ける集積ポイントに集積していきます。その際、造材作業がスムーズになるように元口を揃えて集材しています。

造材は、大径材でない限り基本はプロセッサで造材しています。

採材は、操縦席から材の曲りを確認するために元口と先端が視線の一直線上に来るように掴んで玉切りを行います。

現場では、伐倒作業・造材作業等の危険区域への立ち入り禁止・上下作業の禁止・過積載の禁止など基本的なルールを常に厳守しながら作業を行っています。

今後林産事業が増える中で、全員がゆとりを持って安全に仕事ができるように、現場でのコミュニケーションを大切にしていこうと考えています。

できるように、現場でのコミュニケーションを大切にしていこうと考えています。



夕方のミーティング



プロセッサによる玉切作業

## 糸島市ボランティア植樹

平成27年2月28日に糸島市二丈福井にある『二丈の森林公園真名子木の香ランド』にて『第3回もりもりひろがる森林づくり』が実施されました。

「NPO法人福岡グリーンヘルパーの会」が主体となり、植樹方法などを教えてもらった後、参加者各々が真名子木の香ランドの1,200平方メートルの敷地に、イロハモミジ、ヤマザクラ、コナラ、クヌギなど約900本の広葉樹の苗を植樹しました。

天気にも恵まれ、糸島市民、行政区、糸島市議会、協賛企業・団体、ボランティア団体など、約300人の参加がありました。

〈福岡西支店〉



植樹風景

## マダニに注意しましょう

マダニ予防については、創刊号で注意事項等を掲載しましたが、最近県内でマダニ感染症の患者さんが亡くなったとの報道がありました。

報道によるとマダニが媒介するウイルス感染症「重症熱性血小板減少症候群」(SFTS)の感染者が4例目で、うち2名の死亡が確認されています。

今は、マダニの活動が活発化していますので、山から作業して帰ってきたら、粘着テープ等で作業着を清掃しましょう。

山に行くときは、服装をきちんとして、肌など露出しないようにしましょう。



作業着に付着したマダニ



マダニの原寸



粘着テープで捕獲したマダニ

## 嘉麻市 竹林整備紹介

嘉飯山支店では、嘉麻市が所有する竹粉砕機を使って竹林整備を行っています。

近年、里山が荒廃している原因の一つとして竹の侵入があります。適切な管理がされていない竹林は根をどんどん外へ広げていき成長していきます。その結果、荒廃した竹林の範囲が広がっていき、里山に光が入らなくなり荒廃していきます。

そんな、荒廃した竹林を、竹粉砕機を使いチップにすることで美しく整備された里山へと生まれ変わらせる事業をおこなっています。

竹粉砕機の利用は、原則嘉麻市内に限られてはいますが、嘉麻市内に竹林を所有し、荒廃した状況にお困りのかたは御検討してみたいかがでしょうか？

〈嘉飯山支店〉



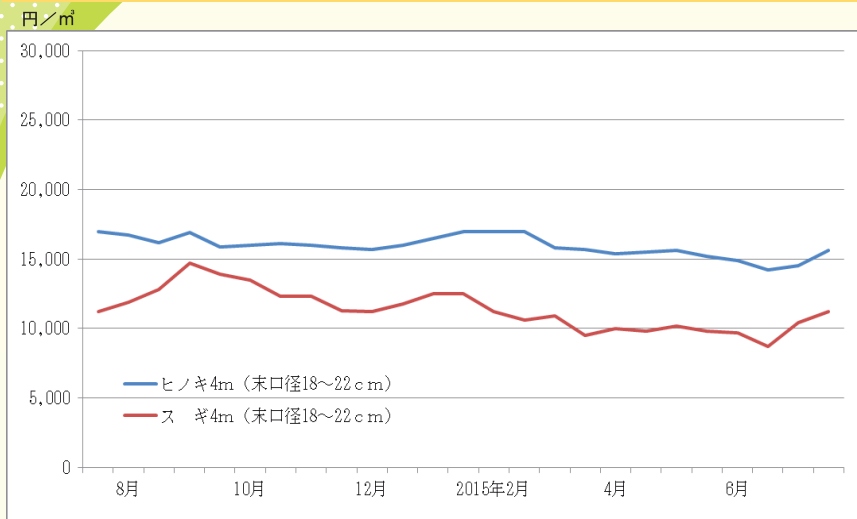
植樹風景



集合写真



## スギ・ヒノキ木材価格の推移(福岡県森林組合連合会 浮羽事業所市況より)



年明け以降続いてきたスギ材の好調な素材価格は、6月末には春先以降の製品買い渋り等の影響を受け、平均のスギ9,000円、ヒノキ13,000円を切る価格となりました。

現在は、素材の自給調整等もありスギ平均10,500円、ヒノキ平均13,800円と回復傾向にあります。

今後は、秋の需要時期に向けての価格上昇に期待しています。

## 市況の動向

## ～事務所移転のお知らせ～

福岡西支店糸島支所と福岡北支店宗像支所の事務所が移転となりましたのでお知らせします。

### ◎糸島支所

〈旧〉  
〒819-1621  
福岡県糸島市二丈深江1360  
TEL: 092-325-3258  
FAX: 092-325-3247



〈新〉  
〒819-1138  
福岡県糸島市前原駅南2-24-5  
TEL: 092-332-7533  
FAX: 092-332-7522

### ◎宗像支所

住所、電話番号等に変更はありませんが、宗像市役所内で場所の変更を行っています。  
宗像市役所 北館2階農業振興課内に移動しています。



## 表紙の説明

### 県指定天然記念物 宇美町 きぬがけ 衣掛の森

宇美八幡宮にある楠。境内の中では最も巨大で、樹齢2000年と伝えられています。樹高は20m、幹周20mで、幹周は全国で第6位の幹周を誇ります。

巨大な樹癌が付着し、2000年の歴史を物語るにふさわしい、迫力のある姿を作り出しています。

根元から2本の幹に分かれているせいか、1本の楠であるにもかかわらず、遠くから見ると森のように見えるのが特徴です。そのため「衣掛の森」と呼ばれています。「衣掛」の名は、神功皇后が応神天皇を出産される際に、産衣をこの木に掛けたという伝承が由来となっています。

